

中野区介護保険の運営状況（令和3年度）の概要について

- 1 中野区の高齢者人口（令和4年4月1日現在）
67,532人（人口全体の20.3%、前年同月比0.3%減）
- 2 第1号被保険者数（65歳以上の被保険者）（令和4年3月末日）
68,343人（※）（前期高齢者31,051人、後期高齢者37,292人）
※住所地特例により、第1号被保険者数と高齢者人口は必ずしも一致しない。
- 3 第1号被保険者の要介護認定・要支援認定者数と認定率（令和4年3月末日）
認定者数 13,516人（前年同月比1.6%増）
認定率 19.8%
- 4 介護サービスの利用
介護サービスの利用者数は11,740人、認定者に対する利用者の割合は79.4%で前年度比0.7ポイント減であった。そのうち、居宅サービス利用者数は10,319人、利用者割合は69.8%で同0.1ポイント減、施設サービス利用者数は1,421人、利用者割合は9.6%で同0.6ポイント減となった。また、令和3年度の保険給付費は約204億8百万円となった。（前年度比3.7%増）
介護保険の利用者負担軽減策のひとつである高額医療合算介護サービス費の令和3年度の支払いは、支給件数2,641件、支給額約1億2百万円（前年度比6.3%減）となった。
- 5 地域支援事業
高齢者が要介護状態等となることを予防するとともに、要介護状態等となっても地域で日常生活を営むことができるよう支援を行った。主な内容としては、介護予防・日常生活支援総合事業をはじめ、運動機能向上や健康・生きがいをづくり事業、地域包括支援センター（区内8か所）における専門職員による高齢者総合相談受付、地域ケア会議、在宅医療・介護連携推進、認知症施策推進、成年後見制度利用支援等がある。
- 6 介護保険料
第8期介護保険事業計画期間（令和3年度から5年度）の保険料基準額は年額で68,710円、所得段階別区分は17段階となっており、第1号被保険者の保険料徴収方法別内訳は、令和3年度末時点で特別徴収対象者が57,310人（83.8%）、普通徴収対象者が11,033人（16.2%）であった。介護保険料収入額は、令和3年度決算で約47億6千5百万円、収入率は96.2%となった。
また、令和3年度における介護保険料は、前年度と同様に第1～3段階に対して軽減が図られた。

7 介護サービス事業所

令和4年3月現在、中野区内の介護サービス事業所数は、居宅サービスが329事業所、地域密着型サービスが100事業所、施設サービスが15施設となっている。

8 介護保険の円滑な利用のための各種施策

介護サービスの質の向上を図るため、介護従事者の定着支援や、介護事業者向けの研修や実地指導などを行った。

9 介護保険制度の広報活動

広報活動として、区報、ホームページ、個別広報等により、保険料や認定申請の方法、サービスの利用方法についてわかりやすい周知に努めるとともに、「介護の日」啓発事業として、介護サービス事業者の活動を紹介するパネルや事業者パンフレットの展示等を行った。